

クレジット取引セキュリティ対策協議会

2023年度 各WG・分科会の活動報告について

I. セキュリティ対策推進WG…………… P. 1

II. セキュリティ対策検討WG…………… P. 3

III. EMV 3-D セキュア等推進WG…………… P. 5

IV. A分科会…………… P. 7

V. B分科会…………… P. 8

[参考1] 各WG・分科会の検討経緯

[参考2] クレジットカード市場の現状と不正利用被害の動向

I. セキュリティ対策推進WG

1. 施策・取組み

施策	取組み
・セキュリティガイドラインの維持・更新	・毎年度、必要な更新を実施

2. 委員構成

- 〈議長〉 ユーシーカード(株)
- 〈委員会社〉 イオンフィナンシャルサービス(株)、SMBC ファイナンスサービス(株)、(株)ジェーシービー、トヨタファイナンス(株)、三菱 UFJ ニコス(株)、楽天カード(株)、(株)ペイジェント、イオンリテール(株)、(株)JTB、(株)三越伊勢丹ホールディングス、楽天グループ(株)、オムロンソーシアルソリューションズ(株)、東芝テック(株)、Secure・Pro(株)、PayPay(株) (順不同)

3. 活動報告

(1) 活動内容（アプローチ）

- 以下の課題を解決するために、セキュリティガイドライン 5.0 版の編集方針を検討した。
 - ①過去最多のクレジットカード不正利用被害額を更新している状況において、不正利用被害を減少させるためには、改めて、イシューアー、加盟店、アクワイアラー、決済代行事業者等の各事業者が当事者意識をもってセキュリティ対策を講じることが必要。
 - ②そのためには、各事業者が自身の該当性を適切に認識し、自分が講じるべきセキュリティ対策を容易に理解可能とすることが必要。
- 〈編集方針〉
- ・各 WG の検討により追加・修正が見込まれない箇所は、原則として、セキュリティガイドライン 4.0 版の記載をベースとする。
 - ・対象事業者及び取引形態の定義を明確化。
 - ・従来のカード情報保護対策、不正利用対策、周知・啓発等の分野毎ではなく、事業者毎に必要な対策を記載。
 - ・各対策の実装方法等は関係する附属文書に移動。関係する附属文書がないものは、新たに附属文書を策定。
- 編集方針に基づき、他の WG・分科会に対して、セキュリティガイドライン本文及び附属文書の改訂等を要請した。
 - 本 WG 担当箇所のセキュリティガイドライン本文の改訂を検討した。

(2) 結論（成果）

- 編集方針に基づいて検討した本 WG 及び他の WG・分科会での改訂内容を取りまとめ、「セキュリティガイドライン 5.0 版（案）」を策定した。

(3) 活動実績

- WG6 回、個別打ち合わせ 6 回

II. セキュリティ対策検討WG

1. 施策・取組み

施策	取組み
・ EC 加盟店のセキュリティ対策確認 (セキュリティ・チェックリスト)	・ 従来の基本的なセキュリティ対策の申告を行う試行の取組みに加えて「悪質な有効性確認、クレジットマスターへの対策」及び「不正ログイン対策」を追加した新たな試行を開始。引き続き新規に契約する際の EC 加盟店のセキュリティ対策向上を進めた。
・ EC 加盟店における基本的なセキュリティ対策導入ガイドの策定	・ EC 加盟店におけるセキュリティ意識向上と基本的なセキュリティ対策強化による、漏えい及び、不正利用防止を目的として、EC 加盟店における漏えい対策と不正利用対策を検討。当該内容を集約した文書を策定。
・ EC 加盟店における今後の非対面不正利用対策の検討	・ セキュリティガイドライン記載の 4 方策について不正抑止効果の最大化を図るため、今後の具体的方法を検討し、新たな考え方をセキュリティガイドラインに示した。
・ 属性・行動分析ポリシー文書の策定	・ 4 方策の 1 つである「属性・行動分析」について導入に際し、関係事業者間における共通のガイドを文書化して策定。

2. 委員構成

- 〈議長〉 Secure・Pro(株)
〈副議長〉 (株)ジェーシービー
〈委員会社〉 三井住友カード(株)、三菱 UFJ ニコス(株)、ユーシーカード(株)、
GMO ペイメントゲートウェイ(株)、(株)ゼウス、SB ペイメントサービス(株)、
(株)DG フィナンシャルテクノロジー、デロイト トーマツ サイバー (同)、
ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、(公社)日本通信販売協会 (順不同)
〈オブザーバー〉 (独) 情報処理推進機構 (IPA)

3. 活動報告

(1) 活動内容 (アプローチ)

- 関係事業者 (アクワイアラー、PSP) を対象として、上記 「試行」 実施にあたり関係事業者の協力を仰ぐとともに、実務担当者に向けて、EC 加盟店が講ずるべきセキュリティ対策及びその必要性について説明会を開催した。(計 3 回、出席 241 社)
- 現状の漏えい状況や不正アクセスを踏まえて新たな対策を追加し、セキュリティ・チェックリストを改定した。また、EC 加盟店における更なるセキュリティ意識の向上と基本的なセキュリティ対策の強化を目的に、新規加盟店契約時に当該加盟店の EC サイトにおけるセキュリティ対策実施状況を申告させる取組みを改定内容を用

いて 2023 年 10 月より新たに開始した。(試行)

- 上記に加えて、EC 加盟店における漏えい対策と不正利用対策を集約した文書「EC 加盟店における基本的なセキュリティ対策 導入ガイド」を策定した。(セキュリティ・ガイドライン附属文書)
- セキュリティ・ガイドラインに記載がある非対面不正利用対策の 4 方策について、不正抑止効果の最大化を図るべく、不正利用の流れを整理。今後は当該流れを考慮の上、「決済前」「決済時」「決済後」毎に対策を導入する考え方について検討しセキュリティガイドラインに示した。
- 上記 4 方策の 1 つである「属性・行動分析 (不正検知システム)」について、委員ほか、当該サービス提供事業者も交えて、①運用における継続的な見直し、②情報の蓄積と活用、③適切な情報提供、④体制整備、これらの観点から検討を行いポリシー文書を策定した。(セキュリティ・ガイドライン附属文書)
- WG 内に専門のプロジェクトを組成し、「スマートフォン・タブレット等のアプリを利用した決済に関するセキュリティ対策等について」【附属文書 17】を改定。スマートフォンアプリ等を利用する SDK 方式等に関して、SDK 提供事業者と事前登録型加盟店における不正利用対策について検討を行い、文書改定を行った。

(2) 結論 (成果)

- 「スマートフォン・タブレット等のアプリを利用した決済に関するセキュリティ対策等について 2.0 版」【附属文書 17】の改定。
- 「属性・行動分析のポリシー文書」【附属文書 19】を新規策定。
- 「EC 加盟店における基本的なセキュリティ対策 導入ガイド」【附属文書 20】を新規策定。
- 「セキュリティ・チェックリスト 第 3 版」【附属文書 21】の改定。

(3) 活動実績

- WG12 回、PJ1 回、説明会 3 回、個別打ち合わせ 27 回

Ⅲ. EMV 3-D セキュア等推進WG

1. 施策・取組み

施策	取組み
・ 静的 PW 以外の認証方法への移行	・ 2025 年 3 月末までの加盟店への EMV 3-D セキュア導入に向けて、早期に取り組む
・ リスクベース認証 (RBA) の精度向上	・ イシューアの RBA 精度向上のための各事業者における取組の推進
・ EMV 3-D セキュア導入・推進	・ 2025 年 3 月末までの加盟店への EMV 3-D セキュア導入に向けた計画的な導入・拡大の推進
・ EMV 3-D セキュアの運用	・ EMV 3-D セキュアによる認証の運用方法 (アカウントへの紐づけ後の決済、継続課金等) の検討
・ EMV 3-D セキュア安定稼働・障害への対応	・ 今後のトランザクション量の増加が及ぼす影響を踏まえ、EMV 3-D セキュアの安定稼働確保のための必要な措置、及び維持管理

2. 委員構成

〈議長〉 三菱 UFJ ニコス(株)

〈委員会社〉 (株)オリエントコーポレーション、(株)クレディセゾン、(株)ジェーシービー、トヨタファイナンス(株)、三井住友カード(株)、三菱 UFJ ニコス(株)、ユーシーカード(株)、楽天カード(株)、GMO ペイメントゲートウェイ(株)、(株)ゼウス、アマゾンジャパン (同)、(株)JTB、(株)高島屋、LINE ヤフー(株)、楽天グループ(株)、(株)NTT データ、(株)日本カードネットワーク、Secure・Pro(株)、大日本印刷(株) (順不同)

〈オブザーバー〉 アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc.、銀聯国際 日本支社、ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、マスターカード・ジャパン(株)、三井住友トラストクラブ(株) (順不同)

3. 活動報告

(1) 活動内容 (アプローチ)

- EMV 3-D セキュアの導入推進および運用等について WG で考え方等の整理を行い、EC 加盟店、アクワイアラー・PSP、業界団体等と意見交換を実施した。
- EMV 3-D セキュアと加盟店が行う不正利用対策の組み合わせによる運用方法を検討するべく、WG 傘下に EC モール事業者等を主なメンバーとした認証方法検討 PJ を組成し、実績データに基づく検証と評価および考え方の整理を実施した。
- イシューアにおける EMV 3-D セキュア推進の指標となる目標数値設定の検討や、取組にあたっての課題の洗い出しおよび推進にかかる好事例の収集等を行うべく、実態調査を実施した。
- イシューア向けの意見交換会を実施し、イシューアにおける EMV 3-D セキュアに関する実態調査において収集したカード会員に対する周知・啓発や RBA 精度向上に向

けた好事例を共有し、課題認識や取組みについて周知し、対応を促した。

- WGメンバー（EC加盟店、ACS、DS、3DSサーバー）を対象に、EMV 3-D セキュアの障害発生状況に関する調査を実施した。
- EMV 3-D セキュア以外の本人認証の具体的手法について、WGで考え方等の整理を行い、議論を行った。

(2) 結論（成果）

- EMV 3-D セキュア ver2.2 からサポートされる新仕様(3RI:3dsRequester Initiated)の具体的な仕様とユースケース等を整理し、「EMV 3-D セキュア導入ガイド」【附属文書 14】を 1.3 版として改定した。
- 2025 年 3 月末までの EC 加盟店における EMV 3-D セキュアの導入にあたり、推進の優先順位と導入・運用の考え方の方向性を示した「加盟店における EMV 3-D セキュア導入推進ロードマップ／加盟店における EMV 3-D セキュア導入・運用ガイダンス（中間整理）」を策定した。
- 2025 年 3 月末までにイシューアが取組むべき事項や具体的な目標数値・対応期限について示した「イシューアにおける EMV 3-D セキュア推進ロードマップ」を策定した。併せて、イシューアに対する依頼事項として、EMV 3-D セキュアの「加盟店からのチャレンジフローでの追加認証要求」に対する取組みや周知・啓発についての取組事項を取りまとめた。
- 上記事項の骨子をセキュリティガイドライン 5.0 版に反映するとともに、「EMV 3-D セキュア導入ガイド」【附属文書 14】1.4 版に「2025 年 3 月末までの EMV 3-D セキュア導入に向けて各事業者に求められる対応」として詳細を反映した。

(3) 活動実績

- WG11 回、PJ3 回、意見交換会・個別打ち合わせ等 40 回超

IV. A 分科会

1. 施策・取組み

施策	取組み
・分科会所管の各附属文書アップデート	・必要に応じた内容の更新

2. 委員構成

- 〈座長〉 (株)ジェーシービー
- 〈委員会社〉 三菱 UFJ ニコス(株)、ユーシーカード(株)、(株)NTT データ、
(株)日本カードネットワーク、オムロンソーシアルソリューションズ(株)、
東芝テック(株)、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、
銀聯国際 日本支社、ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、
マスターカード・ジャパン(株)、三井住友トラストクラブ(株) (順不同)

3. 活動報告

(1) 活動内容（アプローチ）

所管する附属文書について、以下の観点で改定案を検討した。

- セキュリティガイドライン 5.0 版の改訂方針に基づき、同ガイドラインに記載する対策以外の切り出し部分の反映（実現方式や仕様は附属文書に委ねる方針）。
- 実態乖離など今年度改定が必要な箇所についての確認。

(2) 結論（成果）

- 所管する附属文書につき、実態乖離など改定が必要な箇所について確認、検討した結果、既存の附属文書 6 点を改定した。

＜改定した附属文書：6 点＞

- オートローディング式自動精算機 IC 対応指針と自動精算機の本人確認方法について 1.6 版【附属文書 5】
- IC カード対応 POS ガイドライン 1.7 版【附属文書 6】
- IC カード対応 POS 導入の手引き（認定・試験プロセス概要）1.6 版【附属文書 9】
- ブランドテスト要否一覧 1.4 版【附属文書 10】
- 非接触 EMV 対応 POS ガイドライン（取引処理編）1.7 版【附属文書 12】
- クレジット取引における本人確認方法に係るガイドライン（公表版、関係者版）1.1 版【附属文書 15】

(3) 活動実績

- 分科会 5 回、個別打ち合わせ 4 回

V. B分科会

1. 施策・取組み

施策	取組み
・ PCI DSS v4.0 への対応 (周知フォロー、維持管理)	・ PCI DSS v4.0 および他の PCI 基準の更新に伴うクレジットカードセキュリティ・ガイドラインおよび、附属文書に対する影響調査および改定作業
・ PCI 仕様変更に伴う非保持化基準見直し	・ 2023 年度以降も実態や業界実情を踏まえ継続検討

2. 委員構成

- 〈座長〉 ユーシーカード(株)
〈副座長〉 NTT データ先端技術(株)
〈委員会社〉 オムロンソーシャルソリューションズ(株)、東芝テック(株)、Secure・Pro(株)
(順不同)
〈オブザーバー〉 PCI セキュリティスタンダードカウンシル

3. 活動報告

(1) 活動内容 (アプローチ)

- PCI DSS v4.0 の和訳プロジェクトにおける「優先的アプローチ」について、日本語最終版が PCI SSC サイトにリリースされたことを受け、分科会内で報告を行った。
- PCI DSS v4.0 への移行完了時期についての問合せを踏まえ「クレジットカード・セキュリティガイドライン FAQ」に追記する質問内容及び回答案を作成した。
- セキュリティガイドライン 5.0 版の改訂方針に基づき、同ガイドラインに記載する対策以外の切り出し部分を当分科会所管の附属文書に反映を行うため「取引形態」ごとに再整理を行った。
- さらに既存の附属文書については、実態乖離など今年度改定が必要な箇所を確認し、改定案を検討した。

(2) 結論 (成果)

- 上記活動の結果、JCA 一般ホームページに掲載中の「クレジットカード・セキュリティガイドライン FAQ」に追記した。
- セキュリティガイドライン 5.0 版の改定方針に基づく再整理及び実態乖離などの改定が必要な箇所について確認の結果、既存の附属文書 2 点を改定、1 点の附属文書を新規策定した。
〈改定した附属文書 : 2 点〉
 - メールオーダー・テレフォンオーダー加盟店における非保持化対応ソリューションについて 1.4 版【附属文書 1】
 - 対面取引加盟店における非保持化対応ソリューションについて 1.4 版【附属文

書 2】

<新規策定した附属文書：1点>

➤ EC 加盟店における非保持化対応ソリューションについて 1.0 版【附属文書 18】

(3) 活動実績

- 分科会 2 回、個別打ち合わせ 1 回

【参考1】各WG・分科会の検討経緯

◆セキュリティ対策推進WG

第1回 2023年7月12日

- 議題： 1. セキュリティ対策推進WGの活動方針について（報告）
2. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】の改定と構成見直しについて（審議）
3. 4号・7号事業者の該当性の再整理及び講じるべきセキュリティ対策について（報告）

第2回 2023年9月29日

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】の策定について（報告）
2. 附属文書改定のための関係分科会への付託について（審議）
3. 4号・7号事業者の再整理について（報告）

第3回 2023年10月13日（書面開催）

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】の策定について

第4回 2023年12月7日

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】の策定について（報告）
2. 第32回割賦販売小委員会の開催について（報告）

第5回 2023年12月28日（書面開催）

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】の策定について
（セキュリティ対策推進WG担当箇所について）

第6回 2024年2月1日

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】（案）の策定について
2. 「クレジットカード・セキュリティガイドライン」附属文書の改定及び新規作成について（報告）

◆セキュリティ対策検討WG

第1回 2023年4月11日

- 議題： 1. セキュリティ対策検討WGの活動方針について（方針説明および審議事項）

第2回 2023年4月25日

- 議題： 1. セキュリティ対策検討経緯について
EC加盟店のセキュリティ対策確認について
（セキュリティ・チェックリスト、申告書等）
既存加盟店の取り扱いについて
2. 4号事業者、7号事業者の再整理について
3. 4方策の見直しに関する課題等について（報告事項）

第3回 2023年5月23日

- 議題： 1. EC加盟店のセキュリティ対策確認
セキュリティ・チェックリスト第3版および申告書
既存加盟店の取扱いについて

2. 4方策検討の方向性について
3. 新たな「試行」に関する説明会の日程について（報告事項）
FAQ更新および配信について（報告事項）

第4回 2023年6月27日

- 議題：
1. EC加盟店のセキュリティ対策確認
セキュリティ・チェックリスト第3版、申告書、仕様書、FAQについて
「試行」に向けた説明会について
既存加盟店の取扱いについて
 2. 不正利用対策の全体像（案）について

第5回 2023年7月25日

- 議題：
1. セキュリティガイドラインの編集方針について（報告事項）
 2. 試行に関する説明会の報告（報告事項）
 3. EC加盟店のセキュリティ対策確認
試行FAQへの追記等について
 4. 非対面不正利用対策の再整理について

第6回 2023年8月22日（書面開催）

- 議題：
1. mPOS/PCI MPoCなどのセキュリティ評価プロジェクト（仮称）の組成について

第7回 2023年9月26日

- 議題：
1. 試行に関する説明会について（報告事項）
 2. 各種打合せについて（報告事項）
 3. EMV 3-Dセキュア等推進WG傘下の認証方法検討プロジェクトの活動について
（報告事項）
 4. 非対面取引における不正利用対策の今後について
 5. 既存加盟店における申告書対応の考え方について
 6. mPOS/PCI MPoCなどのセキュリティ評価プロジェクトにおける附属文書の改定と
名称変更について
 7. 「非対面加盟店の講じるべき対策」のドラフト版について

第8回 2023年10月24日

- 議題：
1. 「セキュリティ対策検討WGの取り組み状況」の公開について
（「非対面取引における不正利用対策の今後」）
 2. 「非対面取引における不正利用対策の今後」の反映について
 3. 既存加盟店における申告書対応について
 4. 属性・行動分析のポリシー文書について
 5. 「非対面加盟店が講じるべき対策」資料の作成方法

第9回 2023年11月28日

- 議題：
1. クレジットカード・セキュリティガイドライン5.0版への改訂について
 2. 属性・行動分析のポリシー文書について
 3. 「非対面加盟店が講じるべき対策」の資料について

第10回 2023年12月26日

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン5.0版への改訂について
2. 附属文書の体系整理について
3. 属性・行動分析のポリシー文書の位置付けや公開時期について
4. EC加盟店における基本的なセキュリティ対策導入ガイドについて

第11回 2024年1月23日

- 議題： 1. 「EC加盟店における基本的なセキュリティ対策導入ガイド」について
セキュリティ・チェックリストについて
2. 属性・行動分析ポリシー文書（関係者版）について

第12回 2024年3月21日開催予定

- 議題： 1. 2024年度のセキュリティ対策検討WGの運用方針(案)について

◆EMV 3-Dセキュア等推進WG

第1回 2023年4月14日

- 議題： 1. EMV 3-Dセキュア等推進WGの運営方針と取組事項について
2. 加盟店のEMV 3-Dセキュア導入基準及び運用の考え方
3. EMV 3-Dセキュア等推進WGの開催日程等について

第2回 2023年5月19日

- 議題： 1. 加盟店のEMV 3-Dセキュア導入基準及び運用の考え方
2. EMV 3-Dセキュアの障害に関する調査について
3. EMV 3-Dセキュア導入優先順位について

第3回 2023年6月9日

- 議題： 1. 加盟店におけるEMV 3-Dセキュアの導入基準および導入推進ロードマップ(案)の策定について
2. 3RIユースケース検討状況について(報告事項)

第4回 2023年7月13日

- 議題： 1. 加盟店におけるEMV 3-Dセキュアの導入基準およびロードマップ(案)について
2. 関係事業者との意見交換状況について(報告事項)
3. イシューアにおけるEMV 3-Dセキュア推進ロードマップ(案)の策定および実態調査の実施について
4. EMV 3-Dセキュア導入ガイド1.3版への改定に向けた意見募集について
5. 本人認証の具体的手法の明確化について

第5回 2023年8月10日

- 議題： 1. 加盟店におけるEMV 3-Dセキュアの導入基準およびロードマップ(案)およびFAQ(案)について
2. 認証方法検討PJの中間報告および新たな活動内容について
3. 本人認証の具体的手法の明確化について

第6回 2023年9月8日

- 議題： 1. 加盟店におけるEMV 3-Dセキュアの導入基準およびロードマップ(案)およびFAQ(案)について

2. イシューア-における EMV 3-D セキュア推進ロードマップの策定について
3. EMV 3-D セキュア導入ガイド 1.3 版への改定について
4. EMV 3-D セキュア等推進 WG の下期の開催日程等について

第7回 2023年10月26日

- 議題：
1. 加盟店における EMV 3-D セキュアの導入推進ロードマップおよび加盟店における EMV 3-D セキュア導入・運用ガイダンス（中間整理）について
 2. 「イシューア-における EMV 3-D セキュア推進ロードマップ」に関する意見交換会について（報告事項）
 3. EMV 3-D セキュアの障害に関する調査の中間報告について（報告事項）

第8回 2023年11月10日

- 議題：
1. 各ロードマップ等の公表について
 2. クレジットカード・セキュリティガイドライン 5.0 版・附属文書等への反映の方向性について
 3. 「クレジットカード・セキュリティガイドライン【4.0 版】」記載の非対面取引における不正利用対策にかかる調査結果報告書について（報告事項）

第9回 2023年11月29日

- 議題：
1. 関係者版ロードマップ等の JCA の会員専用ホームページへの掲載について

第10回 2023年12月22日

- 議題：
1. 関係者版ロードマップ等の掲載後の状況について（報告事項）
 2. クレジットカード・セキュリティガイドライン 5.0 版への改訂について
 3. 残課題の確認と今後の進め方について
 4. ロードマップ・ガイダンス（中間整理）に関する FAQ の継続検討について

第11回 2024年3月1日

- 議題：
1. 経済産業省からの説明を踏まえた今後の進め方について
 2. EMV 3-D セキュア導入ガイド 1.4 版の改訂について
 3. クレジットカード・ガイドライン 5.0 版 FAQ の確認
 4. EMV 3-D セキュア障害調査の結果報告（報告事項）

◆A分科会

第1回 2023年6月15日

- 議題：
1. A分科会 2023年度活動内容について

第2回 2023年10月12日

- 議題：
1. 管轄ドキュメントの定例見直しについて（報告事項1）
 2. セキュリティ対策推進 WG からの付託事項について（審議事項1）
 3. 今後のスケジュール（報告事項2）

第3回 2023年11月29日

- 議題：
1. 管轄ドキュメントの改定案について

第4回 2023年12月28日（書面開催）

- 議題：
1. 当分科会管轄ドキュメントの定例見直しについて（最終確定）（報告事項）

第5回 2024年3月8日（書面開催）

- 議題： 1. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】の最終版について
(報告事項1)
2. 2023年度 各WG・分科会の活動報告について (報告事項2)
3. 2024年度以降 協議会の取組テーマ・取組体制(案)について (報告事項3)

◆B分科会

第1回 2023年5月24日(書面開催)

- 議題： 1. 副座長の選出について
2. 2023年度B分科会の活動計画(案)について
3. クレジットカード・セキュリティガイドライン【4.0版】FAQの追加改定について

第2回 2023年12月25日(書面開催)

- 議題： 1. B分科会所掌の附属文書の改定および新規策定文書について
2. クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】本文の記載について
(報告事項)

【参考2】クレジットカード市場の現状と不正利用被害の動向

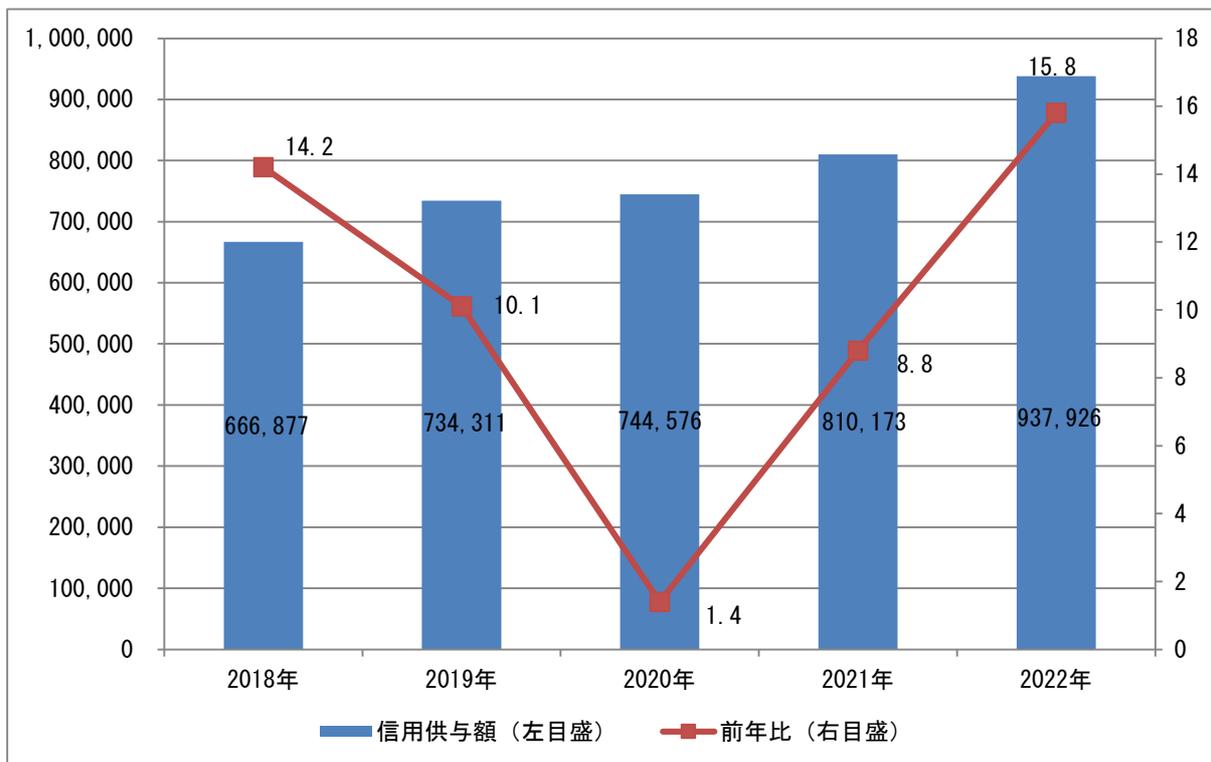
1. クレジットカード市場の現状

我が国のクレジットカードショッピングの信用供与額は、2018年には66兆6,877億円であったものが、2022年には93兆7,926億円と、27兆1,049億円の増加、40.6%の伸びとなっている。（【図表1】「クレジットカードショッピング信用供与額」参照）

このクレジットカードショッピングの信用供与額が、民間最終消費支出に占める割合を見てみると、2018年の21.9%に対して、2022年は30.4%と8.5ポイント増加している。（【図表2】「民間最終消費支出とクレジットカードショッピング信用供与額の推移」参照）

【図表1】クレジットカードショッピング信用供与額

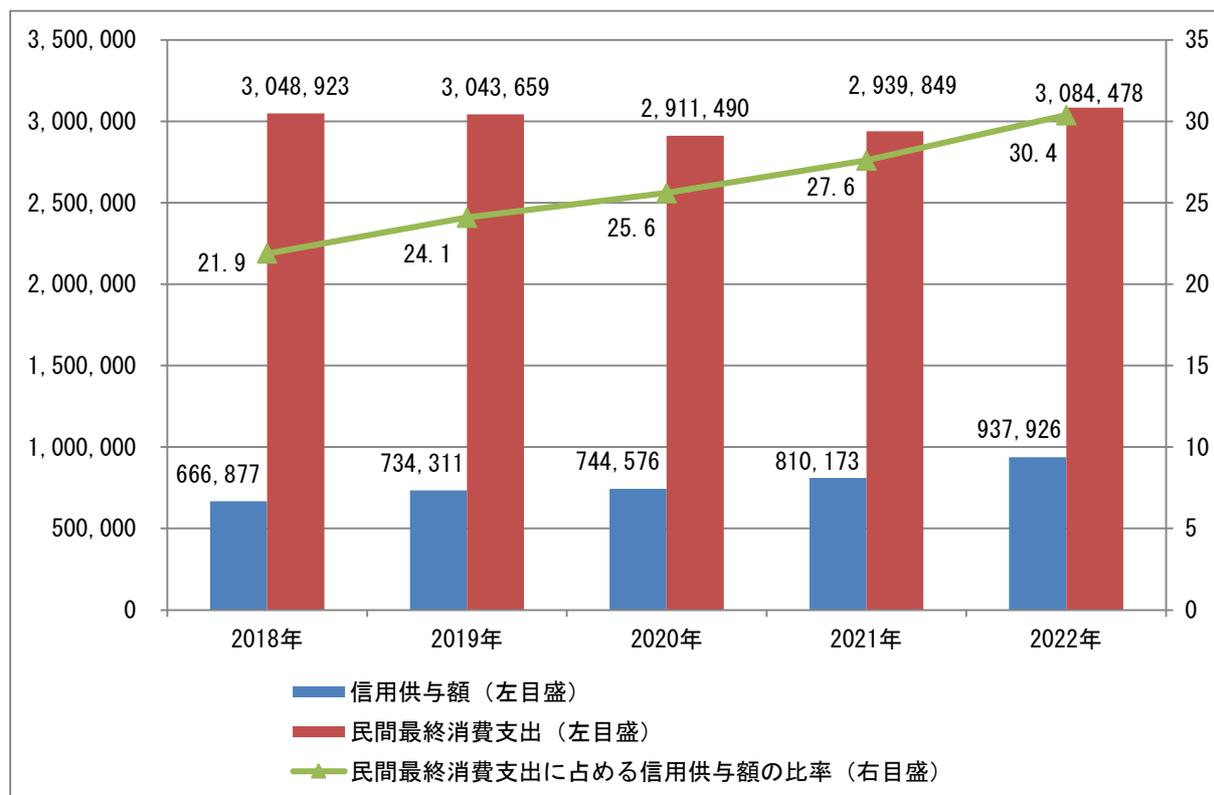
（単位：億円、%）



出所：日本クレジット協会「日本のクレジット統計」

【図表 2】 民間最終消費支出とクレジットカードショッピング信用供与額の推移

(単位: 億円、%)



出所： 日本クレジット協会「日本のクレジット統計」

2. 不正利用被害の動向

クレジットカードの不正利用被害額は、2018年に235.4億円であったが、2022年には、436.7億円となり、4年間で201.3億円、85.5%の増加となっている。

不正利用の内訳を、①偽造カード被害、②番号盗用被害、③その他不正利用被害（定義は後述を参照）で見ると、「偽造カード被害」については、増減があるものの2018年の16.0億円から2022年の1.7億円と14.3億円減少し、89.4%減となっている。「番号盗用被害」は、2018年の187.6億円が2022年には411.7億円と224.1億円増加、119.5%増と大幅に増加している。

「その他不正利用被害」は、2018年の31.8億円が2022年には23.3億円と8.5億円減少、26.7%減となっている。

なお、2023年1-9月を見ると「番号盗用被害」は依然高止まり状態であり（376.3億円。前年同期比29.3%増）、被害額全体としても増加に転じている（401.9億円。前年同期比30.1%増）。

（【図表 3】「クレジットカード不正利用被害の発生状況」参照）

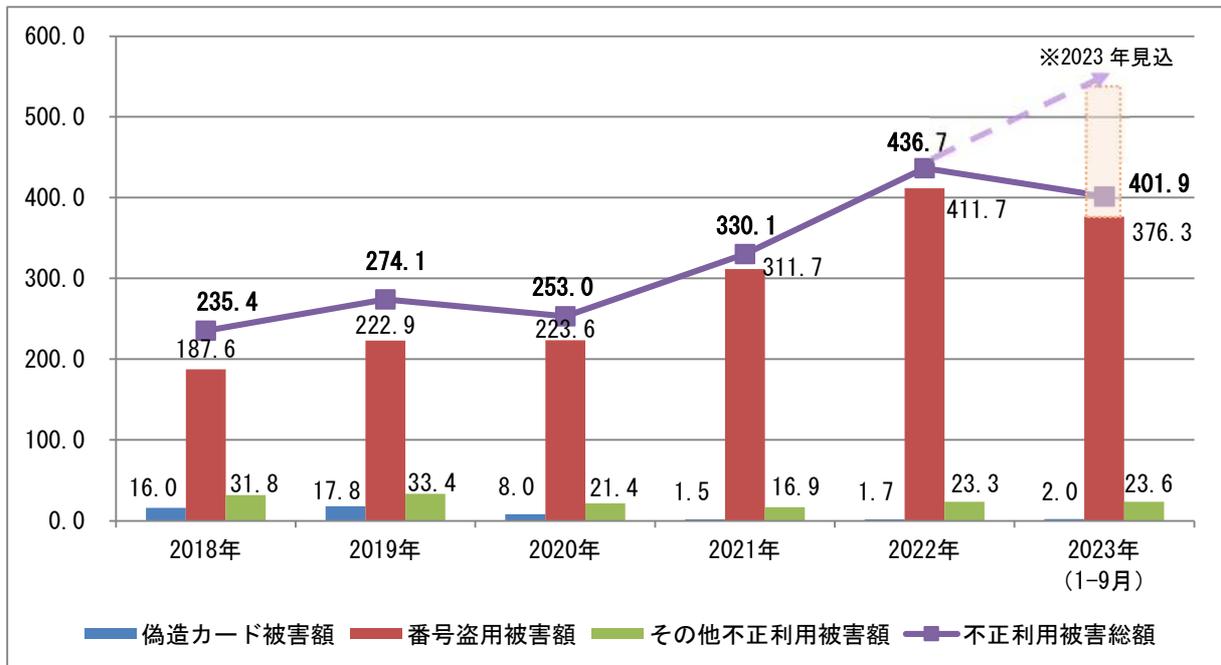
<不正利用手口の定義>

- ①偽造カード被害：不正に取得されたカード番号等を用いて作成された偽造カードで決済された取引の被害
- ②番号盗用被害：不正に取得されたカード番号等を用いてカード会員本人になりすまされて決済された取引の被害

③その他不正利用被害：①及び②以外の不正利用（例えば、紛失したカード、盗難されたカードの不正利用）で決済された取引の被害

【図表 3】クレジットカード不正利用被害の発生状況

(単位:億円)



出所：日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」